

農業開発経済学特論（2単位）

担当者氏名 高根務・板垣啓四郎・中曽根勝重

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

本講義では、途上国の農業・農村のおかれている現状とそのメカニズムおよび社会・経済構造を正しく認識し、開発と発展を阻害している諸条件や要因を理解することを目的とする。その上にたって、農業・農村開発を進めるためのさまざまな開発戦略・政策の妥当性を、開発経済学の視点から理解できるようにする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

貧困問題	農産物貿易	農産物流通	開発理論
開発戦略	官民協力	人口問題	開発政策

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	イントロダクション	農業開発経済学の基本概念	◎講義の中で紹介される文献資料や統計資料を自ら活用できるよう、予習復習をおこなうこと。
2	貧困の定義	貧困のとらえ方や計測方法	
3	リスクと脆弱性	貧困、リスク、脆弱性の相互関係	
4	途上国の農業開発政策	途上国の農業政策を歴史的視点から概説	
5	貿易と農業開発	農業貿易と農村開発の相互関係	
6	農産物流通システム	途上国における農産物流通	
7	農産物貿易	農産物貿易と農業発展	
8	農業開発の理論（1）	伝統的農業の経済学	
9	農業開発の理論（2）	経済と農業発展の諸理論	
10	農業開発の理論（3）	農業開発の誘発型革新モデル	
11	農業開発の理論（4）	ミクロからみた農業開発モデル	
12	政府と民間の役割	農業開発の政府と民間の役割	
13	農業開発戦略（1）	加速的農業成長のための戦略要因	
14	農業開発戦略（2）	農業開発に向けた主要な戦略	
15	まとめ	全体の総括	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

講義の中で指定する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

講義の中で紹介する。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

レポート課題 50%、討論への積極的参加度 50%。

◆オフィスアワー

毎週木曜 12:10-13:00

◆その他受講上の注意事項

授業中の積極的な発言を期待する。